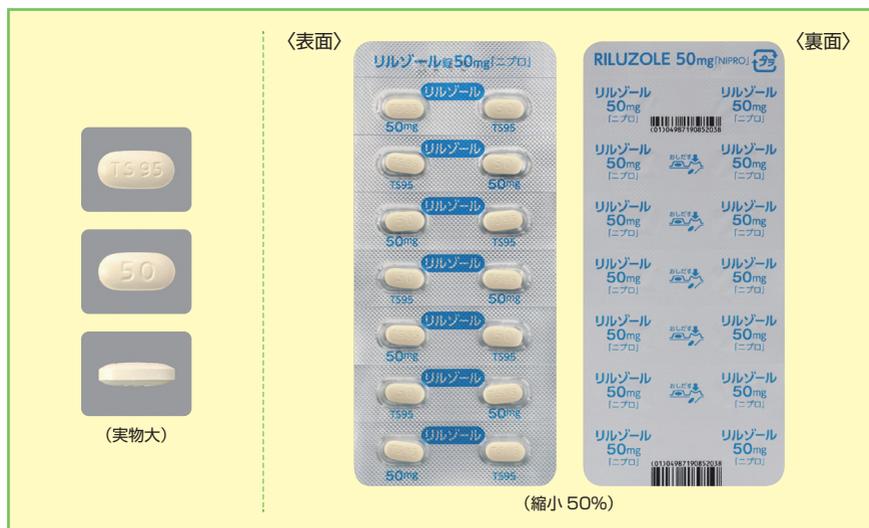


リルゾール錠50mg「ニプロ」を お飲みになる患者さんをご家族の方へ

リルゾール錠50mg「ニプロ」は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の治療および病勢進展の抑制に用いられます。

神経細胞保護作用によって、筋力の低下や食べ物が飲み込みにくくなるなどの病気の進展を抑制する効果があります。症状を改善させたり、軽減したりする働きはありません。



おくすりの飲み方と量

- ◆ 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ◆ 通常、成人は本剤を1回1錠、1日2回朝および夕食前に服用します。指示のとおり飲んでください。

飲み方

- 1 飲むときはコップ1杯程度の水またはぬるま湯といっしょに飲んでください。
- 2 飲み忘れた場合は、気がついた時できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 3 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 4 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

おくすりを飲むときに注意すること

- ◆ おくすりはPTPシートから取り出してお飲みください。
- ◆ 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。
 - 以前におくすりを使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
 - 肝臓、腎臓に異常がある、感染症で発熱がみられる。
 - 妊娠中、妊娠している可能性がある、授乳中。
 - 他におくすりを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。
- ◆ 生活上の注意
 - めまい、眠気が起こることがありますので、車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ◆ 保管上の注意
 - 乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
 - おくすりが残った場合、保管しないで廃棄してください。

このおくすりを使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

- ◆ 主な副作用として、無力感、吐き気、めまい、便秘、腹痛、下痢、食欲不振、発疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。
- ◆ まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。
このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。
 - 呼吸困難、蕁麻疹、ふらふら感、冷汗 [アナフィラキシー]
 - 発熱、のどの痛み [好中球減少]
 - 発熱、から咳 [間質性肺炎]
 - 全身倦怠感、食欲不振、呼吸困難、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。

上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

医療機関・薬局名

製品に関するお問い合わせ先

ニプロ株式会社 医薬品情報室

0120-226-898 受付時間 9:00~17:15
(土・日・祝日・その他弊社休業日を除く)

患者さん向け資材等の
取り寄せサイト(医療関係者向け)はこちら▶▶
<https://order.nipro.co.jp/items>

